

# 非線形物理学研究室

[www.omu.ac.jp/sci/nonlinear](http://www.omu.ac.jp/sci/nonlinear)

みず ぐち

スタッフ 水口

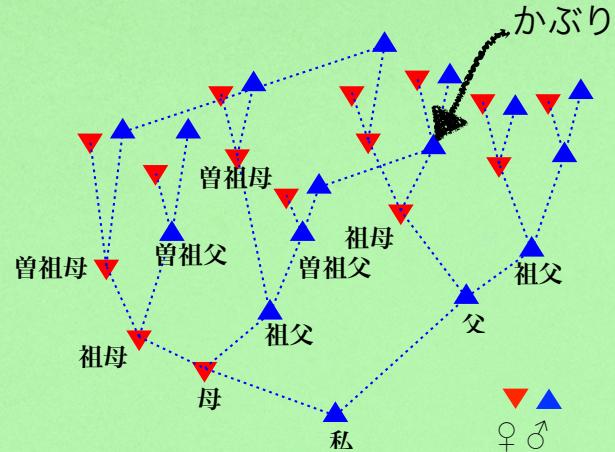
研究テーマは分野横断的

- 物理っぽくない対象
- 実データも楽しい
- 計算機よく使う

こんな科学に興味がある人、大歓迎

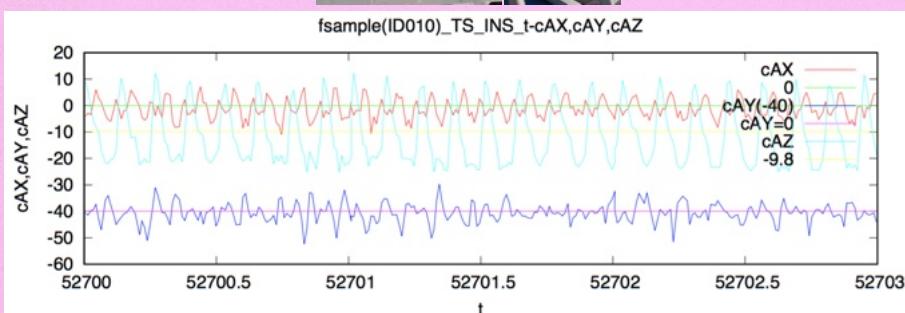


## ネットワーク・グラフ



- ・親子関係という「つながり」 = ネットワーク
- ・構造解析 Betti数／ループ構造／確率過程

## リズムと運動



飛んでいるハトの加速度時系列

- ・解析によって運動状態を推定
- ・ヒトでも可

## 名前・言語の統計解析



一番多く使われているアルファベットは e なんだ。だから...  
登場する「要素」は数も種類も多い。  
そんな系にも統計的な法則がある。



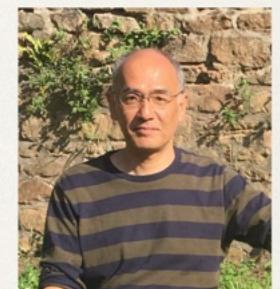
## 非線形物理学研究室

[www.omu.ac.jp/sci/nonlinear](http://www.omu.ac.jp/sci/nonlinear)

みず ぐち  
スタッフ 水口

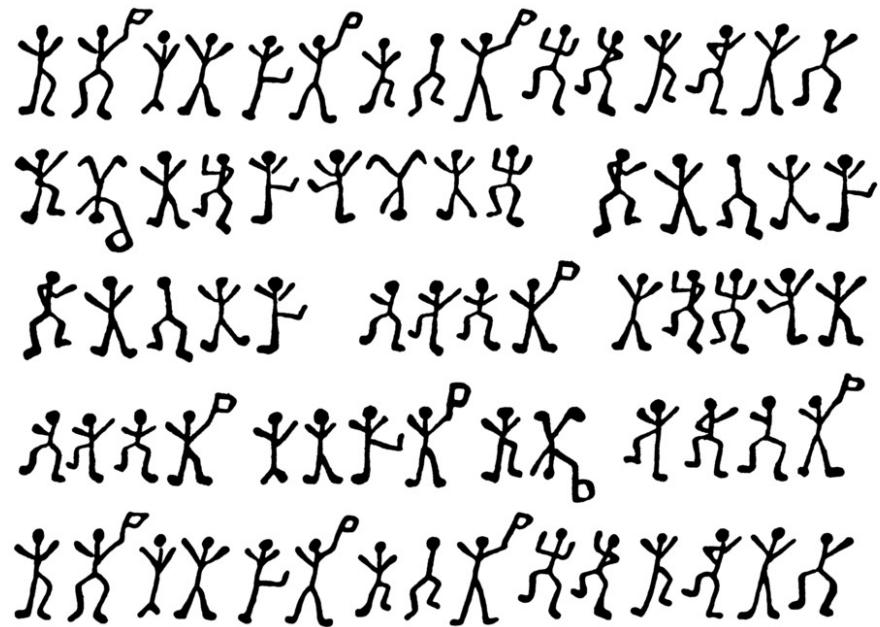
研究テーマは分野横断的

- 物理っぽくない対象
- 実データも楽しい
- 計算機よく使う



こんな科学に興味がある人、大歓迎

# 文字の出現頻度・単語の出現頻度



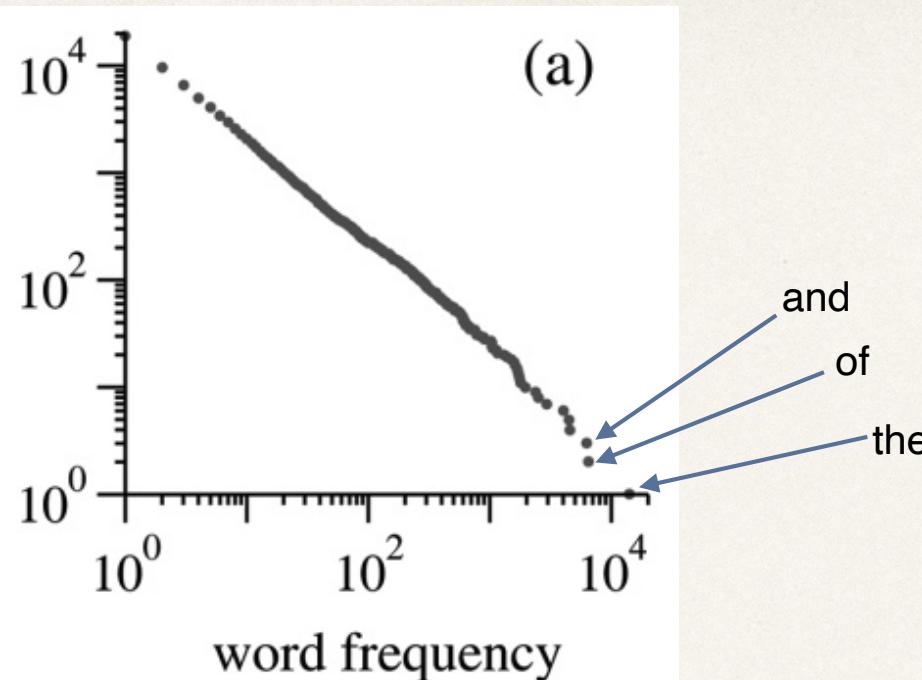
“つまり、両手を挙げたこの人形は、アルファベットのEであると。ご存じの通り、Eというのは英語のアルファベットで最もよく使われ、その頻度は、どんな短文にもたくさん見つかるほどです。最初の伝言にある十五の文字のうち、同じものが四つ、さすればこれをEとするのが合理的です。” アーサー・コナン・ドイル「踊る人形」より。



同じことを単語レベルで考えることもできる。英語の文章で最もよく使われる的是...  
アルファベットは26種類しかないが、単語の種類は...めっちゃ沢山  
この「沢山の種類のものの集まり」に対する法則があります

# Zipf則

その単語の出現回数のランク



英語版「白鯨」の中の単語の出現回数

- ・頻出単語の種類は少なく、希少単語の種類はめっちゃ多く、中くらい出てくる単語の種類はそこそこ
- ・両対数グラフで直線で傾きがほぼ $-1$ つまり **ランク  $\propto$  出現回数 $^{-1}$**  が成立。べき則の一つ。
- ・**他の英語の本でも**同じような結果が得られる。
- ・**他の言語でも**同じような結果が得られる。

“ユニバーサル”な性質

様々なものの集まりによく見られる分布  
本の中の単語・人名・地震の規模・  
クレーターの大きさ・財産分布・戦争…  
\*世の中、正規分布ばかりではないのです

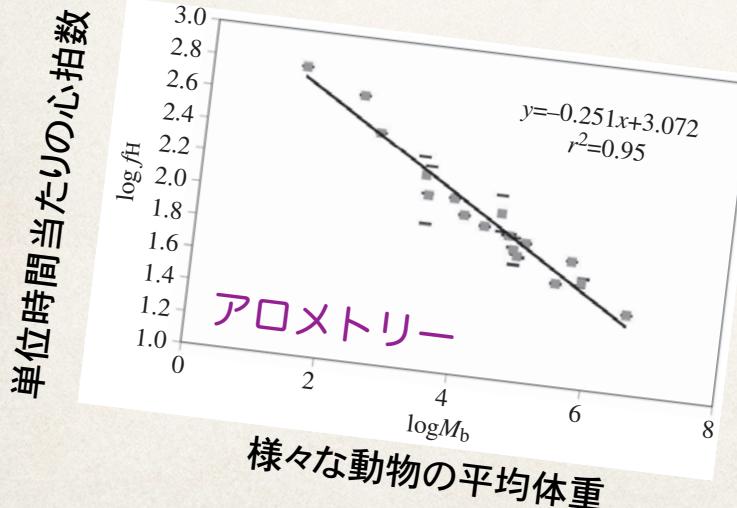
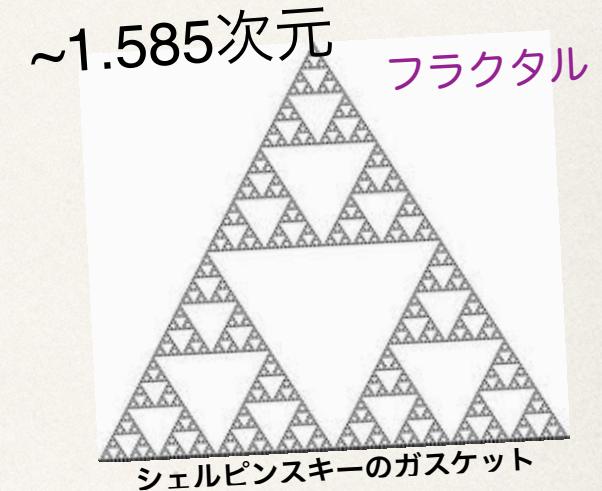
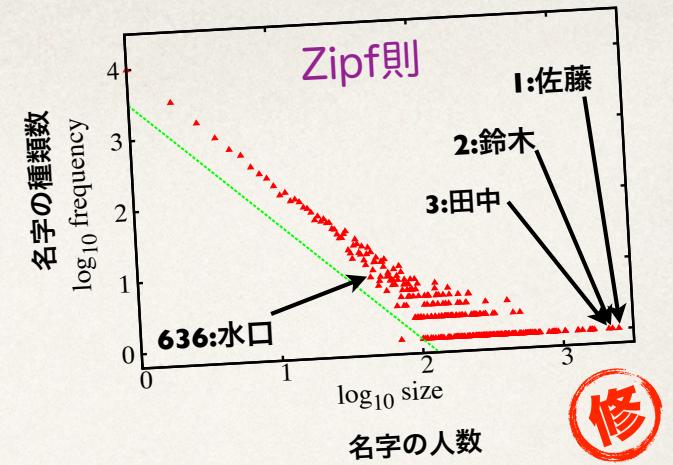
# べき則



べき則：  
両対数グラフで直線

1. ケプラーの第三法則
2. Zipf則
3. アロメトリー
4. フラクタル
5. 臨界現象

：



特に 2 や 3 は「多様な要素の多数からなる集団」の構造・分布・時間発展等についての統計法則。物理学・生物学・言語学・社会学など様々な分野で報告されている。  
その向こう側にあるかもしれない法則を探る

# ネットワークというものの見方

## ネットワーク

モノとモノのつながり具合に着目  
「距離」などは重要視しない。  
トポロジーとも深い関係がある  
「グラフ」とも呼ばれる。

## 古い例：Königsberg の橋問題

「七つの橋を各々一度だけ通って、  
全ての橋を渡ることができるか？」

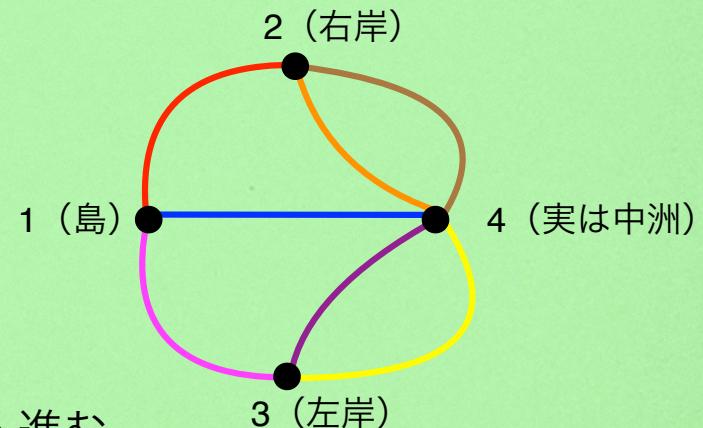
不可能であることの証明 (Euler)

川で隔てられた島や岸と頂点と見なし、橋を線と見なすと、右図のような図形（グラフ）になり、それが一筆書きでかけるかという問題になる。

モノ（島や岸）とそのつながり（橋）に着目  
→トポロジーは面やら立体やらも考え、抽象化する方向へ進む  
→最近のネットワーク科学は大規模・複雑な構造に着目する傾向



現在のKalininograd. なんか昔の地図と違っている気もするけど... Google Mapより



# networks in the real world

モノとそれらの間のつながり

駅と路線 [路線図] / 個人と感染 [感染経路] / 単語と文字 [しりとり]

生物種と食う食われる [食物網] / 計算機と通信 [計算機ネットワーク]



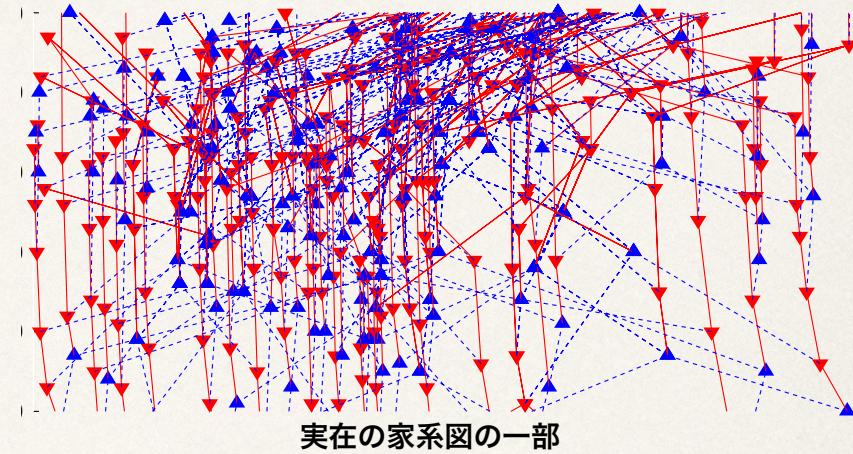
## 生物個体同士の親子関係 [家系図]

- ・あなたもその一部
- ・実はかなり複雑な構造をしている

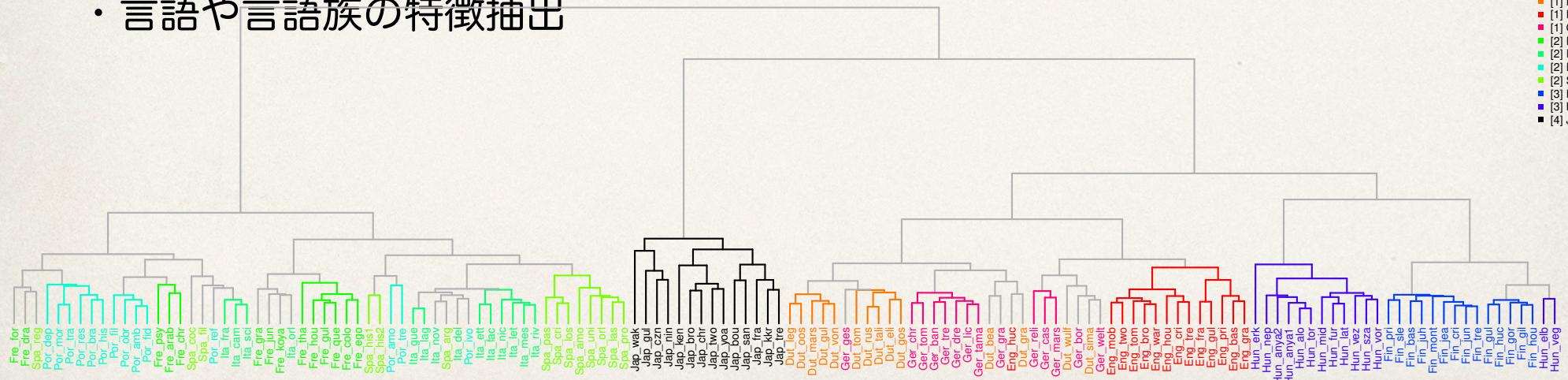


## 文章中の単語のつながり

- ・数値化することで様々な言語も扱える。
- ・言語や言語族の特徴抽出

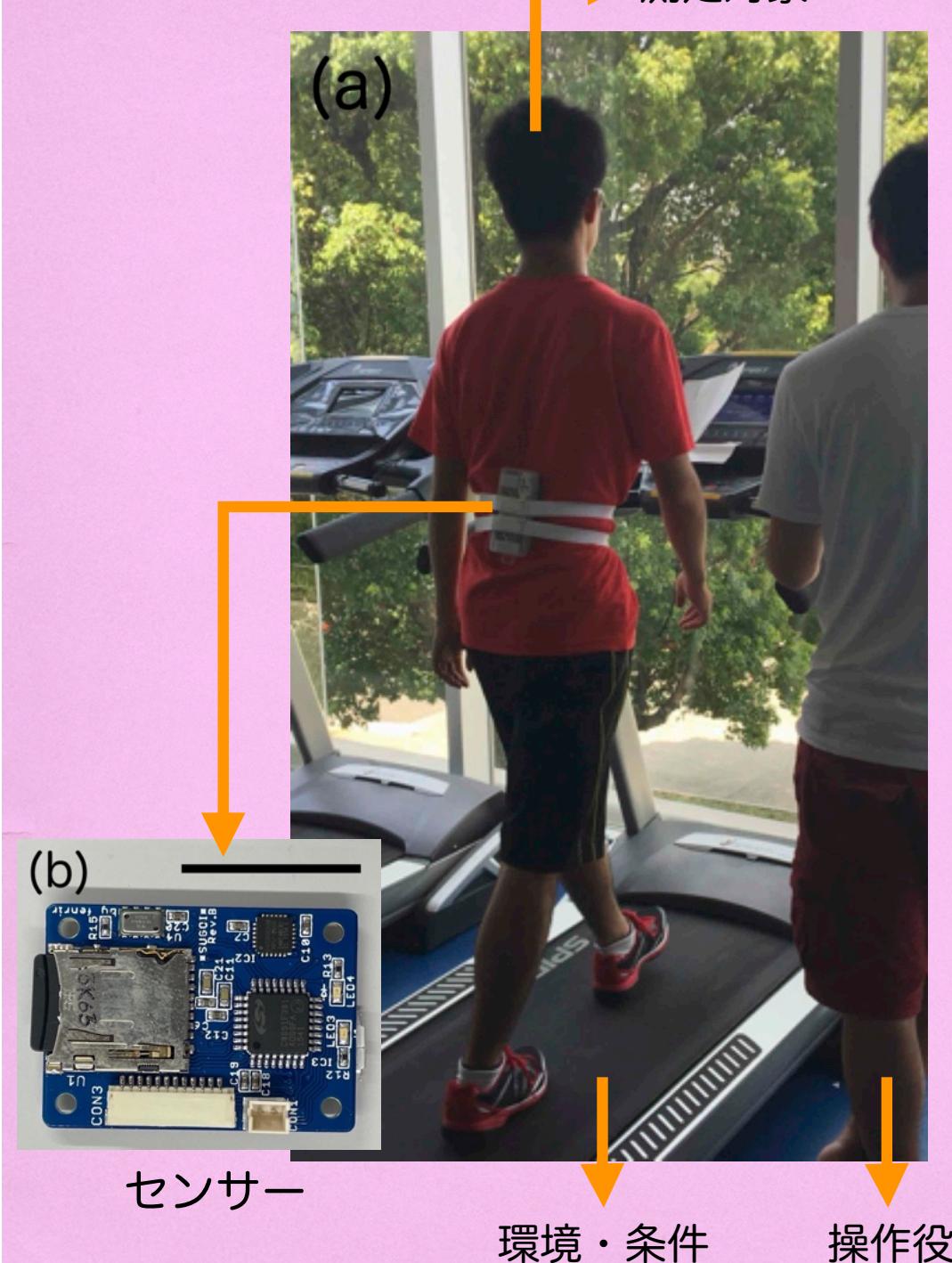


- [1] Dutch
- [1] English
- [1] German
- [2] French
- [2] Italian
- [2] Portuguese
- [2] Spanish
- [3] Finnish
- [3] Hungarian
- [4] Japanese



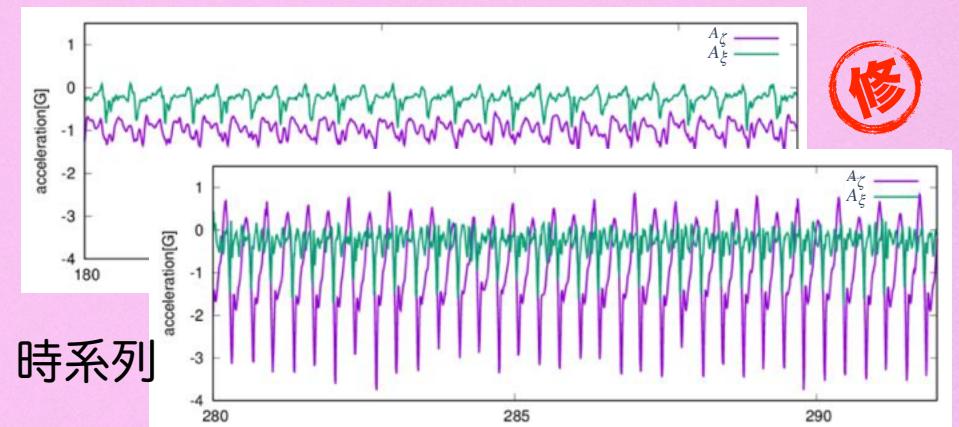
10言語140冊の文章を単語のつながりで分類した樹形図

# リズムと運動



## 典型的な手順

- センサーを測定対象に取り付ける.
- 運動させる.
- センサー回収.
- 時系列データ解析.
- 測定対象の運動状態を推定.



- ? 体をどのように動かしているか
- ? 歩いているか走っているか
- ? 走法・歩法
- ? 個人の特徴



# スケジュール（暫定）・メンバー

- ・研究室セミナー（通年・週一）
  - ・輪講（前期・週一）英語論文
  - ・プログラミング教室（前期・週一）やっぱ python か.
  - ・院進希望の人は、前期は院試対策もしっかり。
  - ・卒研／修論指導（通年・週一～必要に応じて）
  - ・学会・論文発表（修士：成果がまとまり次第？）
  - ・コアタイムは特にありませんが、なるべく大学に来ましょう。
  - ・自主ゼミもやっているみたいです。
- M2 : 福田大祐君  
: 藤田君  
M1 : 貞政君  
B4 : 嶽君  
樋上さん  
福田晏礼君

研究テーマは分野横断的

- 物理っぽくない対象に興味が持てる
- 実データも楽しそう
- 計算機得意

こんな人大歓迎です。

スタッフ：水口



[www.omu.ac.jp/sci/nonlinear](http://www.omu.ac.jp/sci/nonlinear)  
[gutchi@omu.ac.jp](mailto:gutchi@omu.ac.jp)

# 最近の修論・博論題目

- 単語列解析による多言語テキストの分類とその性能評価（2024上田）
- 写真測量法による柱状節理の構造解析（2023岡本）
- ループ構造に着目した家系図の構造解析（2022赤石）
- 慣性センサーを使った運動体の運動学的解析（2020井筒）
- 単語の出現頻度に着目した多言語テキストの構造解析（2020山本）
- 加速度センサーとジャイロスコープによるヒトの運動状態解析（2019池本）
- 日本人の名前の分布の非一様性に関する解析（2019鎌田）
- 有性生物の家系図ネットワークの粗視化（2018伏尾）
- 対称性を有する連続力学系の不安定対称解とその安定化（2016小金丸）
- 実測データに基づく鳥の集団運動の研究〔博士論文〕（2015右衛門佐）
- 家系図ネットワークにおける継承過程と構造解析（2014生田）

修論・博論



非線形物理学研究室でした。